

大人みんなで子どもの心を育てよう!

毎月第3日曜日
「家庭の日」



青少年ながさき人

vol.151 2023.3



心ひとつに、子どものすこやかな成長を願って

ココロねっこパレード



令和4年度ココロねっこパレード

● 11月6日(日) 長崎市中央公園ほか

11月の長崎県「ココロねっこ運動」強調月間の一環として、ココロねっこパレードを実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの実施となりましたが、関係機関・団体の皆様のご協力により39団体、約350名のご参加を賜りました。出発式では実行委員長である長崎市青少年育成連絡協議会 三浦正二会長のあいさつ、ガールスカウト長崎県連盟の平川茂子氏のココロねっこアピール等を行い、その後、長崎女子商業高等学校バトン部並びに吹奏楽部を先頭に長崎市浜町アーケード等をパレードしココロねっこ運動のPRに努めました。

各地の「ココロねっこ運動」PR活動



11月15日(火) 大村市「ココロねっこ運動研修会」(シーハットおおむらさくらホール)での様子

長崎っ子の“夢・憧れ・志”、大人が示すその姿

今年度で3回目となるココロねっこフォーラムを「子どもの居場所～遊び場・体験・大人の向き合い方～」をテーマに開催しました。

子どもの自由な遊び場など、子どものすこやかな育ちのために必要な場所を保障していくのは私たち大人の役割です。地域等でできる子どもの居場所づくりの実践と、子どもへの向き合い方について会場全体で意見を交わしました。



パネリスト 飯笹 芳子さん

女の都小学校区放課後子ども教室
コーディネーター（長崎市）

2011年から開催している学習支援と外遊びの放課後子ども教室について紹介していただきました。

パネリスト 藤原 浩美さん

子ども支援ネットワーク With Wind 代表
（福岡県宗像市）

「まちじゅうを子どもの遊び場に」をモットーに子どもが生きやすいまちづくりを目指して活動されており、「むなかたプレーパーク」を中心に紹介していただきました。

パネリスト 蓮見 直子さん

独立行政法人国立諫早青少年自然の家
所長

様々な調査結果やご自身の経験をもとに、子どもの体験活動の大切さについてお話ししていただきました。



総評 浦川 末子さん

長崎県更生保護女性連盟会長

居場所の必要性や体験の重要性、ココロねっこ運動の趣旨である大人の向き合い方について、総括していただきました。

（アンケートより）

子どもの居場所について、こんなに考えさせられた機会はなかったので、たくさんの情報や思いを知る良い時間でした。とても参考になりました。小さなことでも自分にできることで役にたてたらと思います。

令和4年度青少年育成ココロねっこ指導員等講習会

「ココロねっこ運動」の実践が地域で広がるために青少年育成ココロねっこ指導員の役割等の理解を広める機会として県下12箇所で青少年育成ココロねっこ指導員等講習会を開催しました。

また、指導員の方々が新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、各地で精力的に活動されている状況や様々なご意見を伺うことができました。



西海市での講習会の様子

開催市町（参加対象市町）	開催日
長崎市（長崎市・西彼杵郡）	10月14日（金）
佐世保市（佐世保市・北松浦郡）	11月17日（木）
島原市（島原市・雲仙市・南島原市）	10月12日（水）
諫早市（諫早市）	11月27日（日）
大村市（大村市・東彼杵郡）	10月29日（土）
平戸市（平戸市）	9月30日（金）
松浦市（松浦市）	10月22日（土）
対馬市（対馬市）	9月14日（水）
壱岐市（壱岐市）	11月10日（木）
五島市（五島市）	8月30日（火）
西海市（西海市）	10月26日（水）
新上五島町（新上五島町）	12月3日（土）

青少年育成市町民会議連絡協議会

- 第1回目 6月24日（金） 出島メッセ長崎 206会議室
- 第2回目 中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため）
- 第3回目 2月17日（金） 長崎県庁 308会議室

県内21市町の青少年育成市町民会議会長で組織する青少年育成市町民会議連絡協議会を今年度は第1回・第3回を開催しました。

第1回目では、役員選任、県・県民会議事業説明と県子ども未来課でココロねっこ運動の推進等に從事された元横尾小学校校長、現長崎県校長会の松崎 邦彦氏による講演を実施しました。

第3回目では、地域による健全育成活動について諫早市青少年健全育成会連絡協議会 会長 西川亨氏、対馬市青少年健全育成連絡協議会 会長 春田 新一氏による事例発表と意見交換を実施し、青少年健全育成地域活動のネットワーク強化を図りました。



第3回目 長崎県庁での様子

ひろがれ！『ココロねっこ』・『家庭の日』

親子のふれあいを深める機会として簡単なおもちゃを親子で一緒に作って楽しむワークショップや子どもの育ちを守る講演会等を実施しました。

TIPP-KICK2022第12回トムテ杯

7月10日(日) 長崎市上長崎地区ふれあいセンター

親子で楽しくダンスとリズムジャンプ体験

8月21日(日) 長崎市 STUDIO CHAMP

乳幼児保護者向けメディア講座

「きっと役に立つ！子育てとメディア」

11月9日(水) 長崎市南公民館

「親子で約束！メディアルールの作り方」

12月3日(土) 佐世保市(社)ぼちぼちくらぶ

12月11日(日) 長与町水道局

家庭の日ワークショップ「ラブフェス」

11月5日(土)・6(日) 長崎県美術館

福島プレーパーク

11月26日(土) 松浦市福島総合運動公園

家庭の日ワークショップ「子育て講話」

12月15日(木) 長崎市立小島小学校

子育てしゃべり場 in アマランス

3月7日(火)、15日(水)

長崎市男女参画推進センターアマランス会議室1

ココロねっこ広場「DEJIMA博」

5月4日(水)・5日(木) 長崎市 水辺の森公園

ココロねっこ広場「みらい長崎ココウォーク」

6月4日(土)・5日(日)、11月27日(日)

長崎市 みらい長崎ココウォーク

ココロねっこ広場「ココロねっこ竹松小Day」

7月1日(金) 大村市立竹松小学校

ココロねっこ強調月間行事の一つとして、2年生から6年生までの全学級でメディア講話を実施。



各地で広がる「ココロねっこ運動」PR活動



西海市 ぎゅぎゅっと！フェス



対馬市 田植え・稲刈り体験



長崎市 小島小学校区 あいさつ見守り



島原市安中地区 鬼火



新上五島町 もちつき大会



南島原市 プールの見守り

第44回「少年の主張」長崎県大会～わたしの主張2022～

● 8月24日（水）

佐世保市体育文化館コミュニティセンター5階

今年度は新型コロナウイルス感染症段階がステージ4の状況を鑑みて、無観客による（引率者のみ会場参加）主張発表を開催しました。長崎県下119校10,456編の中から各市の主管課または各市青少年育成連絡協議会等が主催する「少年の主張大会」において選出された最優秀賞と原稿審査により選出された合計12名が県大会への出場を決め、最終審査へと進みました。

一人一人の発表は中学生の鋭い感性と素直な思いの発表でとても素敵なものばかりでした。また、今大会で最優秀（青少年育成県民会議賞）に選ばれた、大村市立玖島中学校の赤川明信さんが全国大会にて文部科学大臣賞を受賞しました。赤川さんの「日本を耕す」の発表は独立行政法人国立青少年教育振興機構のホームページでご覧いただけます。

なお、発表文集を作成し県内の各中学校に配布いたしました。

第44回少年の主張全国大会
～わたしの主張2022～
文部科学大臣賞発表動画
独立行政法人国立青少年教育振興機構HP



受賞者の皆さん

長崎県大会結果

● 最優秀（長崎県青少年育成県民会議賞）

赤川 明信 大村市立玖島中学校 3年

● 優秀（長崎新聞社賞）

神浦 なつ 佐世保市立山澄中学校 3年

● 優秀（NHK賞）

西田 心春 西海市立大崎中学校 3年

● 優秀（長崎県校長会賞）

松山 大希 平戸市立中部中学校 3年

● 優秀（長崎県PTA連合会賞）

秋山 実優 諫早市立北諫早中学校 3年

● 優秀（ココロねっこ賞）

二村 佳蓮 松浦市立志佐中学校 3年

● 優良賞

末岡 志帆 雲仙市立千々石中学校 3年

尾崎 杏樹 九州文化学園中学校 3年

阿比留 凌 対馬市立佐須奈中学校 3年

渡邊 滯 壱岐市立郷ノ浦中学校 3年

山田 愛 小値賀町立小値賀中学校 1年

陶山 心寧 対馬市立久田中学校 3年

● 努力賞

堤 小蘭 佐々町立佐々中学校 3年

松本 怜華 島原市立有明中学校 3年

令和4年(2022年)12月13日（火曜日）長崎新聞 朝刊 県南 A版 011ページ

赤川さん(致中)文科大臣賞 少年の主張全国大会

必要と指摘。「農業の感動、面白さを伝えることで、若者がワクワクしながら日本の未来も耕していく未来になる」と強調している。

6日に園田裕史市長を訪ね受賞報告した赤川さんは「全国2位の実感が湧いてきて、頑張つて良かったと思う。勉強だけでなくいろんな人と関わって成長し、将来は地域や日本をよりよくできるような仕事に就きたい」と話した。

同大会は全国約39万人の応募があり、赤川さんは九州ブロック代表として参加。先月に動画による審査があり、12人の中から受賞者を決めた。

（荒木竜樹）

「日本を耕す」テーマ

中学生が口懐抱いている思いや考えを表現する「第44回少年の主張全国大会」で、大村市立玖島中3年の赤川明信さん(15)が、2位に当たる文部科学大臣賞に輝いた。赤川さんのテーマは「日本を耕す」。実家が兼業農家で、きつい、汚い、危険の「3K」という農作業の手伝いをするのが嫌だったという。だがある日、野菜が短期間で成長する様子を見て植物の生命力に感動。農業が感動や喜びを得られ、人に感謝される誇れる仕事だと気付いたと話す。

農業の担い手不足について、情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）など科学技術の導入で、「新しい農家の働き方」が



少年の主張全国大会で文部科学大臣賞に輝いた赤川さん
＝大村市役所

第50回長崎県少年少女合唱団合同演奏会

● 7月17日（日）長崎市市民会館文化ホール

今回は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、ホールの収容人数制限等も考慮し、対策を講じながら出演を希望する合唱団のみで実施しました。動画での出演やステージでの合唱を3年ぶりに楽しみ、合唱団同士の交流を深めることができました。

参加団体	出演内容
長崎少年少女合唱団	ステージ出演
小値賀町少年少女合唱団	ステージ出演
厳原ジュニア合唱団	動画出演
福江少年少女合唱団	動画出演



長崎少年少女合唱団の発表の様子



小値賀町少年少女合唱団の発表の様子

第49回長崎県少年ソフトボール大会

● 11月26日（土）・27日（日）
有家総合運動公園・布津グラウンド

2会場3コートでの始球式で開幕した今大会は、17郡市代表18チームの出場で開催しました。

大会中は子ども達の真剣なプレーと、その姿に一喜一憂する応援の保護者の方々の姿が見られました。優勝は白山JF少年（島原市）、準優勝は星鹿少年ソフト（松浦市）、第3位にA's（雲仙市）・長与南少年ソフトボールクラブ（西彼杵郡）にて閉幕しました。

本大会の開催のためにご尽力いただきました南島原市・南島原市教育委員会・南島原市青少年育成市民会議・南島原市ソフトボール協会・審判団の皆様には改めてお礼申し上げます。



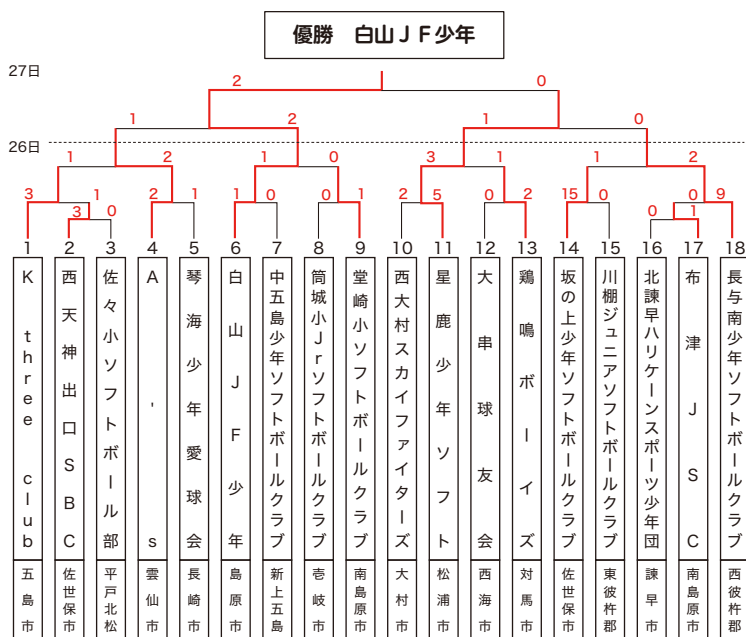
始球式の様子 南島原市長 松本 政博 様
(有家総合運動公園Bコート)



優勝 白山JF少年



準優勝 星鹿少年ソフト



長崎っ子のためのメディア環境協議会

● 令和5年1月26日（木）長崎県庁大会議室A

長崎県では青少年が安全・安心に利用できるインターネット環境づくりのために、事業者、行政、育成団体等により「長崎っ子のためのメディア環境協議会」を設置しています。

現在、この協議会では青少年の電子メディア利用に関して次の現状を改善することを目指しています。

- ① SNS等を起因とした事犯の被害や加害（児童買春・児童ポルノ等）
- ② ネットの特性などの理解不足から生ずるコミュニケーション上のトラブル。また、そのトラブルをきっかけとしたネットいじめ。
- ③ ネットやゲームの依存や長時間利用
- ④ 電子メディア利用の低年齢化による心身の成長・発達への影響

このような現状を改善するために、協議会を構成する各事業所・機関・団体等が連携して、次のことについて協議し取組をすすめることを確認しました。

- ① フィルタリング利用率の向上
- ② 「ネット・電子メディア利用ながさき基準夜9時まで」の推進
- ③ 低年齢児を持つ保護者等への啓発

協議会構成

【事業所】 ㈱ドコモCS九州長崎支店、KDDI㈱九州総支社、ソフトバンク㈱、アルプスシステムインテグレーション㈱、(有)西九州メディア

【行政機関】 長崎県警察少年課、長崎県警察サイバー犯罪対策課、長崎県子ども未来課、長崎県教育庁児童生徒支援課、長崎県教育庁生涯学習課、総務省九州総合通信局電気通信事業課

【育成団体等】 長崎県校長会、長崎県高等学校長協会、長崎県少年補導センター連絡協議会、長崎県青少年育成県民会議、長崎県PTA連合会、長崎県公立高等学校PTA連合会、長崎県メディア安全指導員協議会



令和4年度長崎県フィルタリング等実践講座事業

子どものスマホルールと設定講座

インターネット上の不適切な情報や犯罪等から子ども達を守るため、フィルタリング等の機能の周知と活用を推進し、具体的な設定方法について実践講座を行いました。

本講座はNPO子どもとメディアながさき 代表 大町俊介氏他講師の方のご協力のもと、県下の小中学校10校で実施し、保護者・教職員を合わせ280名が参加しました。



10月18日(火) 長崎市立稲佐小学校での講座の様子

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 7/ 1(金)大村市立竹松小 | 10/18(火)長崎市立稲佐小 |
| 9/ 2(金)松浦市立今福小 | 11/10(木)南島原市立野田小 |
| 9/ 9(金)松浦市立鷹島中 | 11/18(金)長崎市立古賀小 |
| 9/27(火)雲仙市立大塚小 | 11/25(金)長崎市立西坂小 |
| 10/16(日)諫早市立長田中 | R5.1/18(水)松浦市立調川小 |

令和4年度乳幼児教育関係者研修事業

乳幼児の育ちを守る保育・教育関係者メディア研修会

近年メディア利用の低年齢化が進み、子どもたちの心と体に様々な影響を及ぼしていると考えられています。

そこで乳幼児に関わる保育・教育関係者の皆様に対して乳幼児のメディアに利用の現状と課題、メディアとのよりよい付き合い方等、乳幼児期におけるメディア利用に関する啓発および研修を古野陽一氏（NPO法人子どもとメディア常務理事）を講師に迎え県下3か所で実施し、104名の方が受講されました。



7月25日(月) 長崎県勤労福祉会館での講座の様子

- | |
|--------------------------|
| 7/25(月) 長崎県勤労福祉会館(長崎市) |
| 8/ 3(水) アルカスSASEBO(佐世保市) |
| 8/30(火) 五島市勤労福祉センター(五島市) |

地域で取り組む子どものネット利用改善事業(C-NET)

この事業は、メディア利用の低年齢化を踏まえ、児童生徒とその保護者、さらに未就学児の保護者を含め、指定した中学校区の地域全体で取り組むインターネット対策モデル事業です。

昨年度に続き、横尾中学校区と大浦中学校区の2中学校区で実施しました。



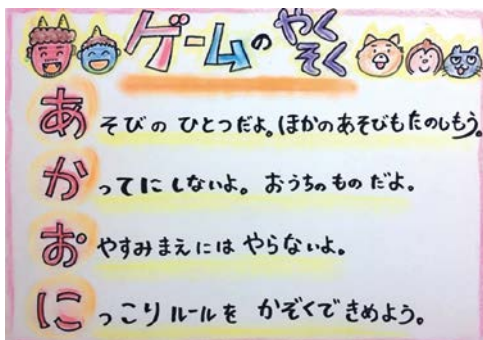
7月2日(土)
横尾中学校での様子



11月30日(水)
仁田佐古小学校での様子

紙芝居『ピコピコゲームのピコたろう』

平成28年に「赤い羽根共同募金」の助成金にて作成したゲーム機との付き合い方を紹介した「ピコピコゲームのピコたろう」が再ブームとなっています。県内の小学校養護の先生方からの借用依頼が多数を占め、特に低学年(1~3年)で活用されています。貸し出しは無料です。郵送を希望される場合は、返送料を負担していただきます。お気軽にお問い合わせください。



《使用してみたの感想・気づきより》

大きく見やすい紙芝居であること。物語の内容も誰もが知る昔話であることから子どもたちにとってとても親しみやすい教材でした。メディアの心身への影響、メディア利用の約束も分かりやすく子どもたちに伝えられたと思います。

令和4年度 長崎県メディア安全指導員スキルアップ研修・特別研修

子どもたちを取り巻く電子メディア環境について成長と発達への影響やよりよい使い方について啓発活動を行っている長崎県メディア安全指導員(以下、指導員)のスキルアップを図るため、講師に古野 陽一氏(NPO法人子どもとメディア常務理事)を迎え、第1回(令和4年6月5日(日)大村市中地区公民館)、第2回(令和5年2月5日(日)ミライon図書館)の研修会を実施いたしました。

また、今年度は、指導員減少に伴い派遣対応が困難になっている新上五島町(令和4年10月4(火)・5日(水))と対馬市(令和4年10月11日(火)・12日(水))に於いて特別研修を実施しました。

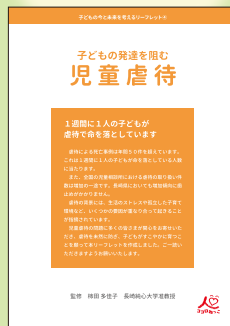


第2回スキルアップ研修の様子



対馬市での特別研修の様子

児童虐待防止リーフレット



児童虐待防止リーフレットを作成しました。社会問題となっている児童虐待。虐待による死亡事例は年間50件を超え、1週間に1人の子どもが命を落としている人数に当たります。

長崎純心大学准教授の柿田多佳子先生の監修のもと児童虐待の現状を分かりやすくまとめました。この問題への関心を高めたるため多くの皆さまにご覧いただきたいと思えます。配布等いただける場合は県民会議事務局までご連絡ください。

ココロねっこ10 企業では ▶ 9 「ノー残業デー」を設定し、家族のだんらんを応援しましょう。

ながさき子育て応援の店

子育てにやさしい社会づくりを目指し、地域ぐるみで子育てを応援する「ながさき子育て応援の店事業」。県内の協賛店1,358店舗（令和5年1月末現在）でパスポートを見せると、おトクなサービスまたは、子育て家庭にやさしいサービスなどを受けることができます。昨年度より小学生まで利用対象を拡大しました。（注意：お店によって対象が異なります。）詳しいサービス内容は、ココロネットで

🔍 <https://www.nagasaki-kosodate.jp/>（下記QR）



また、パスポート利用促進のため、令和4年11月11日から12月28日まで、協賛店舗の利用者に抽選でながさき子育て応援の店協賛店舗様からのプレゼントが当たるキャンペーンを行いました。協賛店舗のみなさまには、心よりお礼申し上げます。また、多くの応募ありがとうございました。

ながさき子育て応援の店「ココロネット」
また、ご協力いただけるお店募集中！
詳しくはコチラ➡



子育て応援フリーマガジン「ココロン」



「親子の育ちを応援し、より良い子育てを社会を目指すフリーマガジン」ココロンを今年度も3号発行しました。

表紙も今年よりデザインを変えてリニューアル！しました。

主に保育園・幼稚園・認定こども園等を通じて乳幼児の子育て世帯を中心にお届けしています。

ココロネットでも公開しています。
<http://www.nagasaki-kosodate.jp/>

お手元がない場合は、お送りしますのでご連絡ください。

長崎県児童救済基金

台風などの自然災害、火災によって保護者を亡くした児童に学資金、被災した児童に一時金として被服文具費などが給付されます。

詳しくは事務局までお問い合わせください。



長崎県児童救済基金HP

(公財)長崎県児童救済基金事務局
(長崎県子ども未来課内)

TEL095-895-2681(直通)

種類	対象児童	給付内容	給付額				
			未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生等
学資金	被災により主たる生計者である保護者が死亡した児童	被災児童が、小学校から大学等（短大、専門学校専門課程を含む）を卒業するまで、その在学期間中（大学等については6年間の限度とし、留学期間を除く）の学資金を給付します。	-	年 66,000円	年 66,000円	年 264,000円	年 371,000円
	被災により主たる生計者でない保護者が死亡した児童		-	年 33,000円	年 33,000円	年 132,000円	年 186,000円
被服文具費	被災により居住の本拠である住家を全壊全焼により失った児童	住家が全壊・全焼したとき、その被災時に給付します。未就学児は、3～6歳の幼稚園・保育所等に通う児童に限りです。	35,000円	50,000円	50,000円	50,000円	-
修学旅行資金	被災により保護者が死亡した児童	小学校、中学校及び高等学校に在学中の修学旅行費用を給付します。	-	上限40,000円	上限70,000円	上限110,000円	-
	被災により居住の本拠である住家を全壊全焼により失った児童	被災した翌年度までの修学旅行費用を給付します。	-	-	-	-	-
就職支度金	被災により保護者が死亡した児童	中学校及び高等学校を卒業して就職するとき支度金を給付します。	-	-	50,000円	50,000円	-
	被災により居住の本拠である住家を全壊全焼により失った児童	被災した翌年度までに中学校及び高等学校を卒業して就職するとき支度金を給付します。	-	-	-	-	-
特別救済金	理事会が、特に必要と認める場合に、特に定める額。						

会員の皆様方、関係機関・団体の皆様方へ

令和4年度も残すところ1か月を切りました。会員並びに関係の皆様方には本年度におきましても当会の運営並びに事業推進に格別のご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

本会の事業においては直接的に子どもを支援することはありませんが、子どもの育ちや諸問題に多くの方々に関心を寄せていただけるよう現状を訴え、また青少年育成市町民会議や関係団体等、地域で青少年育成に尽力されている方々と連携しながら、本県の青少年の健全育成に取り組んでいるところです。

青少年の育ちをめぐる課題の多くは、青少年が育つこの社会のあり方が生み出しているとも言えます。「ココロねっこ運動」はそのような社会を大人の手と心で、子どもがすやかに育つ社会に変えていく手段であると私は考えています。次年度におきましても一層「ココロねっこ運動」を推進してまいりますので、皆様方のお力添えをお願い申し上げ、書面ではございますが本年度のご支援に対しましてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

長崎県青少年育成県民会議 事務局長 宮本 幸成

発行日 令和5年3月
編集／発行 長崎県青少年育成県民会議
〒850-0031 長崎市桜町4-1長崎商工会館9階
TEL/FAX (095) 824-7510
印刷 株式会社 岩永印刷所